ら八年前に、ヴィアトー

洛星を訪れましたが

修道会の教育についての考

く利用することだと思いま

されると確信しています。

願っております。

多く要

最後になりましたが、

の名において、皆さんに心 ワィアトール修道会の学校 ります。世界中のすべての 大きな家族の一員なのであ さんと私は、共に国際的な からの挨拶を申し上げます。

講演が行われた。

教育とヴィアトー 修道会と連帯

F r マルコ・R・ フランシス

修道会経営の学校の卒業生 共有できる大切なものを持 であり、そのことから、 とであります。と申します っていることも、 く、また光栄に思っており だいたことを、大変うれし 話できる機会を与えていた 等学校の生徒の皆さんにお 外にありますヴィアトー せていただき、洛星中学高 私は、本日ここに参加さ 私自身がシカゴの郊 また、皆さんと私が 嬉しいこ 皆

修道会の前総長、レオナー ・オーデ神父様のお供を 私は、一九九五年、今か とは申すまでもないことで を及ぼす文化と理科の教育 思っております。私どもが、 会の教育について、ヴィア ありますが、ヴイアトー に最善を尽くそうとするこ 現代世界に対して深い影響 かについて、お話したいと 動の理想をどう考えている 私は、ヴィアトー ル修道会員が、教育活 ル修道

学校の生徒の皆さんへのす みない協力をしてくださっ の校舎は、その実現に惜し けではありません。これら 単なる新しい建物というだ 成したことに深く感動いた の校舎が新しく生まれ変わ 今回ふたたび訪れて、学園 ばらしい贈り物であります。 方々からの、洛星中学高等 のご尽力の証であり、 の方々を始め、多くの方々 た保護者の皆さん、同窓生 しました。これらの校舎は、 素晴らしい学び舎が完 この

伝統と、 根ざしているものでありま 伝統は、 ち合うことに努めておりま 伝統の最良のものを分か与 皆さんと、我々自身の持つ ルイ・ケルブ神父の生涯に また私どもは、生徒 ヴィアトール修道会の このことに基づいて、 修道会の創立者、 カトリック教会の

堂で完成祝賀会が行われ、ウィング半地下のケルブ講 生徒会室や面談室などがあ 育部室、活動部室のほか、 学のホームルーム教室と教 成し、今年度より使用開始 フランシス神父による記念 卒業生の妹尾正浩氏とヴィ 校舎の設計を手がけた十期 いたウエストウィングが完 ウエストウィングには中 四月十二日にはウエスト かねてより新築を行って ル会総長マルコ・R・

となった。

え方は、それが日本であれ、 ナダ、アメリカ合衆国のい アフリカ、南アメリカ、 カ

育の場としてまことにふさ 統が豊かに見られる、美し の文化とも深い関りを持っ わしいところであると確信 いこの京都という地は、教 よう心がけております。日 と伝統を尊敬し、心を開く ております。私どもは、仕 本で千年にわたって培われ 文化に心を開き、 事をさせていただく国々の いたします。 れであれ、それらの国々 文学、 芸術、建築の伝 その叡智 は、 のであります。

は、 満ちた神様から与えられた る。と申しております。 切なことであるだけではな をすることが、もっとも大 べての美徳のなかで、 の哲学者、キケロが、す 方の中で、もっとも大切な たちが幸福になるため ものは、感謝の気持ちを持 つことであります。ローマ 私たちの人生が、 あらゆる美徳の源であ 感謝



00000000000 喜 一、日本語を多少なりと 必要条件は以下の三つ。

る知識はもちろん大切であ 私たちは教育者として、 与えるのではなく、叡智を はなく、 足をもたらすとは限りませ りますが、人生に幸福と満 書かれている知識とは、必 の持ち方であり、この態度 叡智とは、言い換えれば、 もたらすことにあります。 をすることであり、 おります。書物から得られ とも大切なことは、 世界と他の人々に対する心 しも限らないと確信して 学ぶことのできるもっ 情報を伝達することで 教育のより大切な仕事 人格形成の手伝い 知識を ものだということを、はっ きりと認識することが大切

が本当の幸福をもたらすも こうした態度、心の持ち 受けたのでしょうか。どう るのではないでしょうか。 えて見る機会を与えてくれ 時間を割いて、自分たちが は、献身的な先生方とすぐ えられたのですが、ここに 活を送るようになったのか うしてこの美しい国に生を の恵みを受けているかを考 達や旧友からどれほど多く 両親をはじめ、先生方、 新しい講堂の完成は、少し という学校で学ぶ機会を与 であります。皆さんは、ど もつことは、キケロが言い ですから、感謝の気持ちを れた設備があります。 は、人生の不思議なところ して両親の元で、幸せな生 皆さんは、この洛星 この

がわくのではないでしょう 何か報いたいという気持ち この寛大な恵みに対して、 えられたものを大切に、 か。そのひとつの道は、 れているかを自覚すれば、 がどれだけの恵みを与えら の元になるものです。自分 ましたように、多くの美徳 ちをあらわせるのでしょう か。どうしたら感謝の気持 与 友 今も、これからも多く要求 多く与えられていますから、 を任せられた人は、 られます。「恵みを多く受け 求される。」私たちはみんな た人は多く要求され、多く て、つぎのように言ってお 世の終りの神の裁きに触れ で、イエス・キリストは、 ないでしょうか。 聖書のルカ福音書のなか

行動力があること。 新聞は主に日本語で も扱えること。 この

これらの内、一つでも満

文化祭に向けて

て動きはじめた。 ト百名余りが文化祭へ向け 今年の文化祭は年々文化 第一回文企総会が六月十

て とともに住む他の人々の暮 らしの様子を知ることです。

考えれば、私たちよりも不 ままで床につき、栄養不足 ちが毎晩おなかをすかした 費しています。日本でもそ ち合うことが大切なのでは 幸な生活を強いられている す。こうした世界の現実を のために発達が遅れていま 多くの人たち、特に子供た うですが、発展途上国では、 地球の全資源の八〇%を消 よそ二○%になりますが、 あわせると世界の人口のお カナダ、アメリカの人口を 人たちと、 その苦労を分か

られたものを自覚し、他の りを持ち、自分に多く与え 力を尽くすことにこそ、 他の人たちの幸福のために に感謝の気持ちを忘れず、 たえられるのかを考えてい て接するよう願ってやみま の生徒であることに常に誇 すところであります。 す。自分に与えられたもの ただきたいと願っておりま ープとして、どうしたらこ ズに、個人としてまたグル より不幸な人たちのニー 日本や世界の他の国々の、 人々に愛と寛大な心を持っ ィアトール会の教育の目指 また、私は今日皆さんに 洛星 ヴ

様が皆さんと美しい洛星を 祝福してくださいますよう

日に暇をもてあましてしま リキュラムなどの点から、 や、今年度より始まった「授 それにともなう文化祭当 祭に参加する人数が減り、 業五日、学校六日」の新カ っている生徒の増加の問題

笠

平和を愛する心。 続ける。 我々は非暴力を掲げ 報をかせぐ。 我々新聞局は足で情

発

洛星

FAX

行

聞局

新

466-0001 466-0777

/(有)片桐軽印刷

いて、情報とは即ち力である。

情報化社会である現代にお それは情報の結晶である。

局員募集

そう、

整理された情報を

ール人々に力を与える物で 人々に供給する新聞はイコ

たしているなら合格だ。 君達次代の担い手が、

例年

何ともならない

集え、若人よ!

錆びつかせ、

を要する。

だが同時に、

情報は速度

洛星諸兄に新鮮かつ整理さ が絶対的に不足している。 れた情報を供給するにはよ 現在、我々新聞局は戦力 分一秒の遅れが情報を 力を失わせる。 星の目となり耳となり言葉 となる!

日に行われ、文企十五パー

り多くの人員が必要だ。

そこで!

我々は新たなる戦力を求

洛 ることになった。そこで先 日案が検討されたが、演劇 昨年度十二月に行われた特 もあり、期待できる文化祭 文企による展示を行う計画 定。また、ケルブ講堂にて 中心に企画を充実させる予 して生徒会、総務パートを 徒の増加の問題への対策と 通り三日間にわたり行われ 障をきたすことから、 別協議会において文化祭二 に挙げた暇を持てあます生 や合唱等の審査や準備に支

00000000000 となるだろう。

私たちの住む世界につい そしてこの地球で私たち ヨーロッパの諸国

生徒の皆さんに代わって、 であった、これらの学校の くださいました。私が直接 快く援助の手を差し伸べてな施設に対して、皆さんは カのフルキナファソの学校 と思います。 こころからお礼を言いたい 4 発展途上国のいろいろ

ル修道会が経営するアフリ っております。ヴィアトー って、たいへんうれしく思 ていただいていることを知 はり楽し も、実際に仲間がいるとや 最後に いにあると思う。 い。これだけでも 小さな部活動で

生活への意気込みを語った。

何とかせねばと思うのだが 身運動音痴であることもあ の継続は苦手である。私自 私は総じて運動系のクラブ たり、文化部だったりする。 るが、体質にも合わない。 る。運動部であっ ものが定着してく なってくるとクラ ブでの仲間という 春も終わりに 分を追 授業でそ こともあ 所属だと てはじけることもある。無 る。日常 その仲間 あるいは くなる。 してとく 意識がなかなかに る。 キャラが薄くなる れが笑いの種とし くりに扱われる。 生活でもよく部と 詰めてくる気がす それに準じる者は 私のような無所属 れが環のように自

文化祭に 訳ではな る真の目 うにして の全身全霊をかけていくよ 充分に目 る」だとすれば、これでも 込むことで得られる物があ もちろ い的は果たせると考 は出来る限り自分 的が「何かに打ち ん対策も考えない い。その例として いる。クラブに入

入生四一名を含む新高校生

新中学生二二五名、

九名が入学を許可された。

同士で一緒にいることが多

ず同じクラブの人達は彼ら

この状態が進むと、

..........

洛星の生徒の皆さん、

持ちを現そうとして、不幸

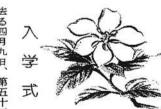
さんの多くの人が感謝の気

ようという呼びかけに応え な人たちと分かち合いまし

えている

の言葉を述べ、新しい学校 辞の後、新入生代表が誓い 担任によって一人一人の名 れに応えていた。 入生は緊張した面持ちでこ 前が読みあげられると、新 (聖体降福式) に続いて、新 式では校長先生による式 式前のベネディクション

四十九期高校入学式が行わ 去る四月九日、 中学入学式並びに、第 第五十



お願いします。

これから一年間よろしく

と明らかとなる。人生に於

いて大木を見出し得ない者

人生における敗者とな

に生きるかという事は自ず

いう気持ちがあれば、如何

人間はなぜ生きるかと

第 167 号 (2) 新任の事務。先生方十六名 していただくことになった 今年度より新しく授業を

簡単な自己紹介

自己紹介

早

III

田

上 野

ただいた。 意気込みなどを聞かせてい に自己紹介を兼ねて抱負、 新任挨拶

好きです。今は、声楽の先

曲を演奏します。歌曲では 演奏会でも、たびたび彼の 大好きな合唱団で、過去の ます。メンデルスゾーンが

やっぱりシューベルトが大

中山 博人

す。次のようなお話を純粋 単純な人間と思って頂けれ に信じて今まで生きてきた 師から聞いた逸話を紹介し 時間以上もかけて洛星に通 ば幸いです。 苦手なので、高校時代に恩 の原稿を依頼されたわけで ようとしています。片道 すが、私は文章を書くのが 重さをひしひしと感じます。 生と呼ばれることの責任の う生徒や熱心に授業を聞い あっという間に四月も過ぎ て中一数学Bを受けもち、 て挨拶と代えさせて頂きま さて、 くれる生徒を思うと、 四月から数学の講師とし 新任という事でこ

> 景井 詳雅

ます。教科は国語担当です。 (かげい・よしまさ) と申し 私は、実際一年前に洛星 はじめまして、景井詳雅

と亀が山の上の木を目指し

皆さんもよくご存じの兎

死と亀」

、競争したお話です。

えるでしょう。 徒達を一年間授業時間を共 てです。去年とは異なる生 年生を担当することも始め を担当することも、 にするのも「初めて」とい しかし、現代文(国甲) 、中学三

し説明させていただきま

えた。必然、亀は兎に勝利 亀は彼方の大木を目標に据 としたからである。一方、

兎は亀に敗北したので

たのは、亀に勝つ事を目標

ていたのである。兎が負け

ではありません。

戦う前から既に決着し

たのだろうか。実はこの勝

さて、なぜ兎は亀に負け

る授業時間になれば、すご どうぞ、 くいいな、と思っています。 に精神的な成長をしていけ っかりものを考え、お互い 文章を読み、四十五分間し かぎり、楽しくさまざまな 制約がありますが、できる よろしくお願いし という時間的な

学研究科修士課程の二回生 院生でもあります。今年、 として数学を専攻している ている上野といいます。 中学三年の数学を担当し 私は、京都大学大学院理

とを楽しみにしています。

シューマンなんかも好きで

私はいままでにたくさん

いつか、

歌える日が来るこ

「冬の旅」も大好きなので、 小屋の娘」をやっています。 生のところで「美しき水車

日であります。 しています。論文と戦う毎 也先生の下で数論の研究を 朝日賞を受賞された加藤和 趣味は、大学入学から続 さんと勉強できることにな この洛星で講師としてみな ました。彼らを育ててきた の洛星の卒業生に会ってき

リード」で歌い続けており 声合唱団「アンサンブル・ いですが…)です。今も男 けている合唱、及び声楽(と いうほど上手なわけではな

藤寛です。昨年度までは 理科教員となりました、 今年度より新たに本校の

から、「初めて」というわけ でお世話になっていました た。 結びつくのでしょうか、少 車に応用されるなどで近年 きものに関することと自動 出身大学の研究室において 注目されている燃料電池が 属するバイオ燃料電池につ 分析的生物電気科学分野に いて学び研究しておりまし なぜバイオすなわち生

の他の有機物から微生物が げるとアルコール、糖やそ くことになります。例を挙 まり生物はエネルギー変換 の能力を用いています。 池では生物のこの呼吸活動 解する呼吸活動により獲得 物は、生きるためのエネル ない微生物や動物などの生 す。生物、特に自分で有機 の触媒機構としてとして働 ギーを摂取した有機物を分 物を作り上げることができ しています。バイオ燃料電 いうことが挙げられます。

ф 淳 ました。しかし、勉強のほ うは余り得意ではありませ どいろいろ教えることがで の使い方や体を作る食事な にもトレーニング方法や体 た。苦労したぶん、皆さん おかげで、物理の勉強以外 日々トレーニングに励んだ 活動を一生懸命しました。 きると思います。また、 部と柔道部を兼部しクラブ 時代の部活動では、空手道 多いと思います。大学(院) に教えることができるのも んのでいろいろ苦労しまし

ています。大学、大学院時 持っていました。この洛星 代には、量子力学を勉強し す。私は中学生のころから 教師になりたいという夢を 当する田中淳(あつし) きることを大変幸せに思っ 中学・高等学校で教師をで はじめまして、 物理を担

ます。今後もよろしくお願

り大変うれしく思っており

いします。

加

寬



じるエネルギーを炭素フェ ルから酢酸菌を触媒とし生 にセットした電極にて電気ネルギーを、微生物とは別 に関する研究をしておりま ルト電極にて集める実験系 の中で自分は主にエタノー 構造のものがあります。こ エネルギーとして受け取る

りも可能性があり優れた能 トすることができれば、と を目指し、自分自身の経験 能力を存分に発揮すること 力を持つ後輩諸君が各自の 的のひとつとして、自分よ まかなっている日本社会の 源のほとんどを輸入により 然資源が乏しくエネルギー ルギーを得る仕組みを将来 のとは異なる物質からエネ 在すでに利用しているも 未来のことを考えると、 必ず完成させねばなりませ またここで石油などの天 自分が教員となった目 現 建物もずいぶんと立派に

固い話でスミマセン」

稿を依頼されて、改めて洛 にあったからです。 星に帰ってきたことを実感 新聞局員として、原稿を書 しました。私も二十年前は いたり依頼したりする立場 新聞局員の生徒にこの原 学校なのです。

そのためにも自分が提供で 皆様、ならびに洛星ファミ きるものならば勉強面であ れればと祈念しています。 を解決する人物が現れてく リーの皆様、今後ともどうぞ て伝えていこうと考えてい れ運動面であれ誠意を持っ ばその中でエネルギー問題 です。 す。勉強ほど面白いもの が、勉強するのは生徒諸君 徒には協力を惜しみません ないで下さい。努力する生 は生徒の自主性を重んじま 恵まれた環境を生かせるか す。自分で学ぶ姿勢を忘れ どうかは、 いうことです。 最後に一つだけ。 やってみれば分りま

洛星

杉下

先生と、やる気のある生徒 りかねないなとも思います。 不満を生み出すことにもな う一度原点に帰って、洛星 反面、慣れてしまうとあり の生徒諸君は幸せだと思う さえいれば、それは立派な いきましょう。情熱のある の歴史を一緒に作り上げて どと言われないために、 は白アリが巣食っているな がたみが薄れ、新たな不平 なり、設備も充実して、 外見は素晴らしいが、 8 中 今

言うつもりはありません。 別に粗末な設備がよいと 心がけ次第だと

うに努力しますが、何分人 の名前は・・です。」とはっ 知れません。そんな時は「僕 と失礼な呼び方をするかも とか「おい!」などちょっ を下さい。その間、「君!」 数が多いのでしばらく時間 さんの顔と名前を覚えるよ 覚えてください。 ーな名前なので、みなさん 私もみな

初めまして。 卒業生でもあります。在学 学年から行われるようにな 文理分けが一年早まり第二 導入されたこと、高校での じめ、一学年五クラス制が 舎に建て替えられたのをは 学・高校校舎が真新しい校 当時と比べると、北側の中 担当します。 して高I・高耳の世界史を の早川です。 (成)先生・藤原先生と分担 生徒、 私は洛星三十九期生の

です。私の前任は上杉先生 任教論として着任した杉下 四月より社会科地理の専

至ってシンプルでポピュラ かご縁を感じます。また、 でしたが、上杉→杉下と逆 下の名前も「一郎」という さまのしりとりのようで何 四年目。 常勤講師で約一年勤務。 ル、東山高時代にIH・

高橋 祝雄

取り、退職後同志社高に非 保健体育教諭として教鞭を は日体大、東山高で四十年 出身地は山形県、出身校

ケットボールコーチとなり り現在は同志社高女子バス スケットボールの指導に当 間公認審判員としてIH・ 選抜大会に数回出場、その 国体・実業団の審判を経験 し、又奨学生やママさんバ

中学パスケットボールの指 導に当ることになりました 本校では、高二の授業と

敦 は違ったものになりつつあ 徒の考え方や雰囲気も昔と み、自由を謳歌していると その他の課外活動に打ち込 が勉学だけではなくクラブ るでしょうが、多くの生徒 点があります。 ったこと等、随分変化した ころは、私がいた頃と同じ もちろん生

保護者の皆さん、 本年度は田中 今年度新 で朝鮮半島やイラクの情勢 を中心とするアジアの歴史 中でも中国やイスラム世界 で安心しています。 について見聞きしたことが 担当する分野は、世界史の 一年、テレビや新聞の報道 さて、私が本年度授業で 生徒の皆さんもこの

を研究していました。フィ

れたか?と言うようなこと

ジアの歴史を学ぶことを期 はヨーロッパ・アメリカ世 界の歴史と対比しながらア 験するはずです。皆さんに 接アジアの人間・風土を体 仕事などで何らかの形で直 人になった時には、旅行や も近い将来、大学生や社会 界ではありません。皆さん スコミだけを通して知る世 少なからずあるでしょう。 しかし、アジアの地域はマ

使ってください。

育

ーです。

性別による固定観

考え方がジェンダー・フリ

ーから自由になろうという

専門種目はバスケットボ 意され その人 ほしいさまざまな課題が用 の自立に向けて身につけて ます。そのために家庭科に 当に男女が平等に協力し合 ーの社会になることで、本 択できるジェンダー・フリ 念をなくし、一人の人間と くことができるのだと思い って家庭や社会を築いてい して、その個性が尊重され、 一人の人間として将来 らしい生き方が選 います。さあ、一

美香(事務局)

ています。

緒に始め

ましょう。



そしてこの素晴らしい洛

一月から事務室でお世話 います。勤務をは れることを今から楽しみに 派に巣立っていく姿を見ら 星に入学された皆さんが立

になって

す。地理は大学で研究して ますが、サッカーの楽しさ・ に中学生を見ることになり っていました。洛星では主 小学校・中学校・大学とや と地理部です。サッカーは 厳しさを伝えたいと思いま クラブ顧問はサッカー部 新任あ めいさつ 車田

今ある地形(地表面)がい 火山灰を年代指標として、 の地形学は専門分野です。 つ現在のような形に形成さ いました。特に自然地理学 の家庭科を担当します。ど うぞよろ この

な片寄っ もちゃ、 は青いズ られることなく、ジェンダ ずの内に身につけて育って 確を期待 さわし スカー に代表されるような社会的 とは「男らしい」「女らしい」 っていますか。ジェンダー ように、 いきま す。「男だから」「女のくせ につくられた性差のことで に」という言葉や、男の子 ー・フリーという言葉を知 さて、 四月から、中学三年 す。でも、そのよう 付され、知らず知ら い行動のしかたや正 たイメージ像に縛 しくお願いします。 それぞれの性にふ 女の子はピンクの ボンに自動車のお 皆さんはジェンダ に人形遊びという ないので、業務には気を引 ます。もちろん、生徒では なすぎるので、私も生徒の 皆さん同様、学園生活を楽 生活があまりにももったい き締めて取り組んでいきた しんでいきたいと思ってい いと、何度も心に言い聞か

ます。両クラブに所属して 行く機会を持ちたいと思い

で、地理部の人とも野外へ

ルドに出るのは好きなの

いる人には力になれると思

ますので、どんどん私を

今回初めて男子校で事務

でに大人のようにすました 幼さの残っている生徒やす とが出来て大変嬉しく思っ 生徒、色々な生徒と会うこ すが、自宅で男の子に囲ま れているため、どこを探し をすることになったわけで し淋しさを感じています。 ても女子のいないことに少 でも、中学生でまだまだ

ほか多くの方々にご指導い すが事務室の方々、先生方 が多く、日々勉強の毎日で ただき、一歩ずつ前進して いきたく思っております。 まだまだ分からないこと

じめるやいなや、中学・高

厚子

せているだけでは、せっか 世間はすっかり春めいて 如く流れ、ふと気づけば、 くのヴィアトール学園での 目白押しで、日々は怒濤の 校入試、祝賀会等と行事が このままただ流れに身を任 くばかりの毎日です。 時間の流れの速さには、 るじゃないですか。 どうも 妙に気が弾むわけです。そ んなわけで、このところの でも、だからといって、

けておりますので、どうぞ せてはおります。 ご指摘などいつでも受け付 多々あるとは思いますが よろしくお願いいたします。 不東者で、至らない点も 竹内 尚美(事務局)





子安

多くの生徒さんの顔と名前 いほど生徒さんがやってきや放課後は息つくひまもな る生徒部は、毎日いろんな 生懸命勉強中です。私がいられるようになるため、一 る生徒さんも多いと思いま 私と顔をあわせたことのなり、すで、 ろだと思います。一人でも ますが、とても楽しいとこ 徒さんがやってきます。 さんの質問にも何でも答え ていると思います。 なさんにご迷惑をおかけし 分からないことも多く、 ことが起こり、 くらいになりますが、 この学園にきて一ヵ月 てきます。朝 生



伊野 葉子 (生徒部)

カ人ですか」と聞かれました思います。今学期が始 シアトル市に生まれたけれ明します。私はアメリカのよっとわかりにくいので説 己紹介をさせていただきた 私の顔がわかるようになっ 越してそこで育っていたの しれませんのでちょっと自 何人だと答えたらち わからないことがあると思学校に慣れるまでいろいろ学校に慣れるまでいろいろ

す。生徒さんの皆さんと話 てとてもうれしいと思いま な星で英語の教員になっ

し合ったりバスケットボー

ったら挨拶してください。 通学していますので偶然にあ

年間日本の大学に行きまし

アトール修道会と連体

Hello! This is my first year at Rakusei High School. However, I have been in Japan for six years. I spent five years in the countryside of southeastern Shiga Prefecture where I taught English at the local schools. Now I live and work in Osaka. I enjoy my life in Japan even though I sometimes miss my home, Michigan, located in the northern United

Before coming to Japan I worked at a small college's international education center with exchange students. I had the chance to meet students from all over the world. I'm sure that someday you will have the opportunity to study abroad. I highly recommend you take it!

As for hobbies and sports... I enjoy making pottery, playing taiko drums, travelling, and camping. I was on the swim team from age seven through college and I also like casually playing other sports, but I am not good at competing.

Even though I'm only at Rakusei on Mondays, I hope to have the chance to talk more often to students in the coming year! Thank you for welcoming me to your school! Yoroshiku onegaishimasu.



Lisa Manhart

のでご協力をお願い 私は生徒の英語能力

生徒の皆さんの努力もこ

EDUCATION, VIATORIAN TRADITION, AND SOLIDARITY

April 12 2003 Rakusei, Kyoto

に行って、やっと四年前にちこち回っていて、大学院アメリカとその三国にあ

た。今大津市に家族と一 日本に住むように戻りまし

に住んでいます。

毎日電車で

I very happy and honored to be here today- and for this opportunity to address a few words to you the students of Rakusei. I am also happy because we have something important in common. I, too, am a product of Viatorian education, being an alumnus of St. Viator High School outside of Chicago. That make us part of greater family that is international. In the name of all of Viatorian schools around the world, I greet you most sincerely!

First of all, I would like to say how impressed I am with the beautiful new buildings that have risen here on campus since the last time I was here in 1995 with Fr. Léonard Audet, the former superior general. These buildings represent more than just new construction: they are a physical sign of the love and faithfulness of the parents, alumni, and all who have collaborated in making these magnificent buildings a reality—and they are a gift to you, the students of Rakusei.

I was asked to speak about Viatorian education and what we, as Viatorians, regard as the most important aspect to the education we would like to impart. Naturally, we seek to provide the very best of education in the arts and sciences that have such a profound influence on our modern world. But the Viatorian approach to education, whether it be here in Japan, in Africa, South America, Canada or the United States, is also influenced by its context. We try to enter into dialogue with the culture in which we are working, with an open heart and respect for the genius and traditions of each country. Here in Japan, the millennial traditions of philosophy, art, and architecture so evident here in the beautiful city of Kyoto are an exceptionally rich context for

We also seek to share the best of our own traditions with our students. These Viatorian traditions are inspired by the traditions of the Catholic Church and the life of the founder of the Viatorians, Fr. Louis Querbes. Drawing from these sources, we as educators are convinced that the most important thing a person can learn is not necessarily technical This technical knowledge-information contained in books. information is important, but not necessarily something that will bring happiness and contentment in life. Rather, the most important part of education is not information, but formation; not knowledge, but wisdom—and wisdom is about developing attitudes toward the world and others that lead to happiness

I am convinced that one of the most important of these attitudes is that of being grateful. Cicero, the Roman orator and philosopher said that "Gratitude is not only the greatest of virtues, but the parent of all the others." In order to be happy, we must recognize that life itself has been given to us by our God of love, through no merit of our own. Why you were born here, in this beautiful country; why you have the parents and the material advantages that you enjoy is part of the mystery of life. Here at Rakusei you have been given the opportunity to study at this school: a place where there are dedicated teachers and superb facilities. The inauguration of this new gymnasium is a good opportunity, then, to stop a moment and reflect on how much you have been given by others-by your parents, by your teachers, and by your friends and fellow students.

Hello!洛星高校に来るの は今年からですが、日本に は今年からですが、日本に は今年からですが、日本に は今年からですが、日本に ありました。きっと皆いつの学生さんと出会う機会がをしていて、そこで世界中 大学の国際教育センターの 日本に来る前は、小さなの生活を楽しんでいます。 たまにありますが、日本での実家が恋しくなることも ミシガン(アメリカ北 をしていて、そこで世界中留学生のお世話をする仕事 を教えていました。今は大 働いています。 度にするのは好きです。競をまでは水泳部に入っていく、他のスポーツも遊び程で、他のスポーツも遊び程 会があれば、と思っていまるだけ皆さんとお話する機 いませんが、こ うのは苦手ですが… 洛星には月曜日しか来て この一年でき

Being grateful, then, as Cicero mentions, leads to other virtues. Being aware of how much we have been given inspires us to want to respond in some way to this generosity. How can we respond with gratitude? One way to respond is to make the most of what we have been given. To learn about the world in which we live and the conditions in which other human beings live who share our planet.

We are all challenged when we learn that Japan, Europe, Canada and the US, about 20% of the world's population, controls and uses 80% of its resources. We learn that many people, especially children, in the developing world and even here in Japan go to bed hungry every night and grow up mentally handicapped because of a lack of nutrition. Most do not have an opportunity for even a basic education. This, too, is a fact about our world that challenges us to respond in such a way as to share with those less fortunate than we.

There is a saying of Jesus that come from the Gospel of Luke and speaks of how God will judge us at the end of time: "From everyone to whom much has been given, much will be required; and from the one to whom much has been entrusted, even more will be demanded" (Luke 12:48). I am convinced that because all of us have been given much, therefore much is required of us... now and in the future.

I was proud and happy to learn that many of you, the students of Rakusei, have responded well to the invitation to show your gratitude by sharing with those who have been less fortunate. Our Viatorian schools in Burkina Faso in Africa and our other foundations in the developing world have greatly benefited from your generosity. On behalf of many of those students who I have personally met, I would like to thank you.

I would also like to challenge all of you today to think about how you can respond individually and as a group to the needs of people less fortunate that you are here in Japan and in other countries around the world. Responding to life with generosity and love because of what you have been given, then, is the goal of Viatorian education. May you always be proud to be students of Rakusei; and may you continue to be generous and compassionate toward others, giving of yourselves because of what you, yourselves, have received.

It's a pleasure to meet you. May God bless you and your beautiful school.

0

京都府立大学 京都府医

21

23

まうので、最近はこの割り でもあるのか」と思ってし部屋、考えると「何か恨み

4 2 1

10 2

計工経商法

人間環境の

0 1

立命館 法 文館 大学

3 2

計農工医経経法国文営済際

入阪府立大学

8

計農工

12 1 11

政策科の

5 3 2 2

0 0

3

2

0

2

13

人阪市立·

関西学院大学

9

他計医工経商文

総合政の

0

2

0

神戸大計

8

To

0

3

大阪工 歯 医 理 経 法 文 大

(公立大学)

13 現

29 卒

42 計

同志 社計理工理 大工

2

下の物音が遠ざかる。

中に入り、扉を閉めると廊 間ほど返却していない鍵で 会室と茶道部室の間、一 エストウィング三階の生徒

0

新聞局室、天井近くに北 の部屋、「牢獄」と言われ でも反論ができなかった

感じたい人は是非 洛星の歴史を

3

0

0

13 1 1

17 2

計 理法工

3 0 3 (国立大学)

75 現

98 卒

名古屋大学

医農

0 2 0

理工

0

文

03 試 結

應義塾大学 Ó 3 2 0 5 3 15 3 2 1 20 16 9 1 (大学校など) 防衛 医大 その他 関西医大 医生物理00 理農工 視 計

0

れほどとは思わなかった。 た新聞の量は凄い、正直こ 2

26 4 7 2 1 2 2

2 3 2

は五名、 手書きの創刊号の日付は いている。 間幾度も部員不足の記事を った、一六六号まで五一年 掲載しながらも、 一九五二年六月二日、部員 以来私が去年関わ 脈々と続

が右腕兼唯一の部下兼親友。 いて来い副局長兼雑用兼我 局長専用コラム「視点」をは惜しい、そう思い勝手に た。まずは、部室を代えて もらう交渉にでも行こう、つ 受け継いで書くことにし この歴史を絶えさせるの

4

週

掃除を終えて、人影も少

なくなった廊下を西へ、

計理工

東京大学 文 文 瓜

計

41

鳥取大学

0

5

3

1 0

2

農工薬医理

京都工繊大 京都教育大〇 滋賀医大

> 1 4

> > 6

2

3

5

2 6

3

理Ⅱ 計

> 0 2 0 0

1

2 1 2

岡山大学 広島大学

ないようにしている。鞄を当てについては、深く考え

2

1

一橋大学 第波大学

(私立大学)

15 現

156卒

171計

-稲田大学

法

2

計工法文

人間

0 0

1 2

商

0

見学歓迎



え入りそうになりながらも ある。創局以来、何度も消 星新聞のバックナンバーで

コツコツと発行を重ねてき

6・アラビア産コーヒーの

11・ギリシア哲学の一派で 13・海がこれでは漁に出れ 9・限りなく移りかわるこ 7・1チーム15人の球技

が30℃を超えた日のこ 1・古代エジプトの象形文 字

[ヨコのカギ]

14・コンスタンティノープ

[タテのカギ]

13・〇〇の通った人

に散乱している、嘆息。 を理が苦手なため備品が床 を開い、その上私が

下ろし、椅子に座る。

品の主戦力は、先日卓球場 の面積を占領している備

の倉庫から回収してきた洛

16・〇〇〇石は12月の誕生 ルに都をおいた帝国

2.00

000室では静かに

鳥

の子

本を読みましょう 3・〇〇〇コントロール、 略してリモコン 4・卵がかえること 5・約一六〇九m

のお菓子を食べたこ 女、〇〇、サソリ、 のない人はいないで

12・セリフを後から入れる

5 6 7 8 9 10 12 11 13 14 15 16

局長 顧問局

とを文化祭とかタブローで と理性がなくなっていくこ もないのに体感。 あと人間は疲労がたまる HⅡ口中村 HIA富岡 (覚悟の果て) 子安 荻野 茂潤

に言われまくった。

んか。」と、道行く先生方 研修旅行前日に五時頃まで 残ってたら「まだ残ってた この新聞の発行のため

じゃなかった、新聞局。です。おいでませ、京都。 マジでお願いします。 (小宮山加茂)

行。おかしいですねえ。 はずが、夏直前号として発 い方がおかしいとも言えま というわけで、部員募集 まあ、局員2人しかいな 本来新年度号として出す

の発行です。

